

## コロナ禍における当検査科の対応

◎中村 和也<sup>1)</sup>、岩田 美雪<sup>1)</sup>、外波山 幸稔<sup>2)</sup>、鈴木 篤<sup>1)</sup>  
JA 静岡県厚生連 静岡厚生病院<sup>1)</sup>、JA 静岡県厚生連 遠州病院<sup>2)</sup>

### 【はじめに】

当院は一般病床 135 床、地域包括ケア病床 35 床、回復期病床 95 床をもつ静岡市内の中規模病院である。コロナ禍において、当検査科では限られた人材と検査機器を利用し病院の協力を得ながら細菌部門を軸に新型コロナウイルス検査を構築してきた。当院では抗原定量検査が設備上実施できない状況のため、抗原定性検査（大塚製薬 クイックナビ COVID-Ag）、LAMP 法検査（栄研化学 Loopamp EXIA）、PCR 法検査（ミズホメディ Smart Gene）の 3 種類の検査で対応してきたので報告する。

### 【検査科の主な対応】

2020.10 月：県内陽性者増加に伴い、抗原定性検査を導入

2020.11 月：LAMP 法検査を導入

（時間外は対応せず）

2021.4 月：検査数増加と院内クラスターに備え LAMP 法検査者の応援体制を整える

2021.12 月：時間外検査の要望があり PCR 法検査の導入

2022.2 月：就業前 PCR・LAMP 法検査開始

試薬出荷制限に伴い、医師に各検査の試薬在庫状況と入荷状況を随時お知らせ

### 【まとめ】

検査体制は院内感染対策委員会にて適宜に協議を重ねることで構築してきた。主力となった LAMP 法検査は、検査数の増加に伴い他部門より検査者の増員を行い、応援体制を整えた。これにより検査日及び検査回数の拡充や院内クラスターに備えることができ、細菌部門の負担軽減にも繋がった。また、オミクロン株が主流となった際には試薬の入荷制限や資材不足が生じたため、各試薬メーカーなどと試薬使用状況や入荷状況の情報交換をして対応した。医師には各検査の試薬在庫状況と入荷状況を随時報告し情報の提供を行った。今後も変異株の出現や新たなウイルスの出現に対しても今回の経験を活かしていきたい。

連絡先：054-271-

7177